

2023年7月

小牧市障害者団体連絡会通信

No.13

つながって → ひろげる

## 5年目の活動

共同代表 山中和彦

2019年2月24日にスタートした小牧市障害者団体連絡会の活動も、2023年2月で丸4年。すでに5年目の年を迎えている。障害のある仲間たちの団体、支援者の団体が、つながって、互いの障害のことについて学び、共感したことを、市民に伝え、思いを広げていくことを活動の指針とし、「つながって⇒広げる」をキャッチフレーズにスタートした。

視覚障害のある人、聴覚障害のある人、重い障害のあるお子さんを抱えた人たちが、集まって話し合うことだけでも苦労が多かった。けれども、コロナ禍のなか、地道に定例会を開催し、会報を発行し続けることで、お互いの障害特性を知り、その上で、より良い地域づくりに活躍されている姿を見て、励まされるが多かった。

昨年度、「選挙のバリアフリー」という共通のテーマを見つけ、今年度は事業として、しっかりと取り組むこととなった。5年目にしようやく「つながって⇒広げる」の芽がでてきたように思う。市民活動は、継続して取り組むことが必要だとあらためて思った。さらに5年先をみすえて頑張っていきたい。



## 選挙のバリアフリーの取り組み

2023年 **8月27日**(日)  
13:30~16:00  
【会場】ふれあいセンター3階 大会議室

【内容】1部 講演「選挙のバリアフリーとわかりやすい選挙情報」

講師:京都産業大学 准教授 堀川諭さん

2部 意見交換会「選挙のバリアフリーに向けて

~私たちが困っていること」

【定員】60名※オンラインによる参加可能。

【対象】障害のある人、障害のある人の家族、支援者ほかどなたでも

【申込み方法】FAXまたはホームページから。**8月20日(日)締切**  
**申込方法については2ページに記載しています。**

共催 小牧市障害者団体連絡会/特定非営利活動法人で・ら・しえん

後援 小牧市 小牧市選挙管理委員会 小牧市教育委員会

特定非営利活動法人こまき市民活動ネットワーク



堀川 諭さん

**参加費無料**

手話通訳・  
UDトークあります



### 小牧市難聴・中途失聴者協会

新しい年度が始まり、コロナの五類移行で活動の幅が広がりました。とはいえ、高齢者ばかりの当会ではまだまだ気を配っての活動です。

4月は総会を行い、年間行事が決まりました。5月は市の出前講座「おひとりさまの終活講座～いざというときに頼れるもの～」。講師を招き久しぶりに勉強会をしました。「今を楽し



▲5月に行った出前講座「おひとりさまの終活講座」



▲7月の定例会で作るクラフトテープのコスター

んで生きることが大切」「終活はいつから始めても良い。今日からでも」と学びました。ポチポチと頑張ってみようかと皆さん納得の様子でした。6月は、社協主催の要約筆記ボランティア講座の中での交流会。受講者やサークル員にノートテイクや筆談の実習をしていただき、日頃の寂しさを晴らすように大いにおしゃべりをしました。7月は会員を講師に「クラフトテープでコスター作り」、8月はお休みで、9月は簡単なパン作りを予定しています。楽しみです。(古木)

### ここぱりこまき

新年度が始まり、ここぱりこまきの活動も少しずつコロナ前に近い状態に戻しています。4月23日と6月11日にミーティングを行い、それぞれ4～5名の参加でしたが、今年度の方針や計画を立てました。ここぱりが長く続けてきた「当事者から学ぶ」シリーズは、昨年度の発達障害研修会で一応一段落として、今年度は久しぶりにイベントを行い、いろいろな人とつながっていく取り組みをすることと、ここぱりメンバーも関心がある障害のある人の防災についての研修をしていこうと話しています。

イベントとしては、以前行った映画「普通に生きる」の上映に続き、生きて、生きて、生きて、普通に生きて「普通に死ぬ～いのちの自立～」というドキュメンタリー映画を9月3日、東部市民センターで午前午後2回無料上映することとし、準備を始めました。※映画情報は6ページをご覧ください。

また、今年度はまず内部研修として、防災についての基本的な研修を小牧防災リーダー会に依頼していくことにしています。メンバーも忙しく、コロナ禍で生活パターンも変わっていて、なかなか集まらない状況もありますが、少人数でもコツコツ続けながらまたみんなが元気になる活動にしていきたいと思います。そのためにも、ここぱり通信発行も行っていきます。(御手洗)